



7月29日、あおぞら保育所で鳥羽市能楽保存会による伝統文化教室が開催され、狂言「しびり」と「附子」が披露されました。用事を出掛ける主人から「附子という猛毒が入ったおけに近づくな」と言われ、留守番をしていた弟子たちが怖いもの見たさで近づいて食べてしまいます。その後、弟子たちが声を上げて泣く場面では、真剣にみていた子どもたちから笑い声が上がりました。

同保存会は毎週練習に励んでおり、現在会員募集中です。興味のあるかたは、鳥羽市能楽保存会（☎⑤ 3743）へお問い合わせください。

## あおぞら保育所で伝統の狂言を披露



8月10日、安楽島町で鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト「安楽島」の作品展示が始まりました。東京都杉並区の子美術大学の学生ら8人と同大学のリンダ・デニス准教授が安楽島町に滞在し、地域のみなさんとの交流により生み出された作品の長期展覧会を実施しています。

漁網やロープ、自転車のホイールを用いて制作された腰掛けにもできる造形品など海辺のまち安楽島ならではのアート作品をご覧くださいことができます。

## 安楽島でアート作品長期展覧会開催中



8月16日、サンタバーバラ市から鳥羽を訪れている中学生らが保健福祉センターひだまりで鳥羽市食生活改善推進連絡協議会のみなさんによる料理教室に参加し、太巻きといなりの助六寿司、お好み焼き、みそ汁、わらび餅を作りました。

参加した中学生らは巻きすの使い方など細かい動作などを身ぶりも交えながら英語で伝えて交流を深めました。

ティアニー・ウラドニセックさんは「作ったことがなかったが、とてもおいしかった」と感想を話してくれました。

## サンタバーバラ市中学生 日本食作り



8月4日・5日、夏休みワクワク防災ツアーが開催され、約120人が参加しました。このツアーはとば防災ボランティアほっとが毎年場所を変えて実施しており、今年は菅島町で開催されました。

1日目は、島っこガイドらの案内による島内散策、遊びながら防災感覚が身に付くスタンプラリー、2日目は島の中で災害時に役立つようなものを見つけるワクワクポイントラリー、ナイロン袋を使って非常食を作るパッククッキングなどを体験し、参加者らは菅島のみなさんと協力して楽しく防災について学びました。

## 菅島で夏休みワクワク防災ツアー